

整理番号	
受注伝票番号	

輸出通知／資料発行依頼書、書き方ガイド

輸出通知／資料発行依頼書(1/2)
(改定：2017年2月1日)

上の欄はアンリツ専用のため、ご記入は不要です。

本依頼書の発行日を入れてください。

輸出通知／資料発行依頼書 (1/2)

アンリツ株式会社御中

発行日 クリックして日付を入力

依頼者名	会社名		責任者役職		(印)
	部署名		責任者氏名		
輸出者名	会社名		電話 (内線)		
			担当者		
			責任者		

依頼責任者殿に確認していただく内容ですので、記載内容を十分ご確認ください。

輸出規制に関連する問題が発生した場合に、対応ができる責任者の立場にある方の役職・氏名を記入して下さい。

当社は、下記の通り、貴社製品の輸出又は社内管理のため、該非判定報告書の発行を依頼致します。
 なお、当該製品の輸出及び関連技術の海外／非居住者への提供に際しましては、国内外の輸出関連法規を遵守し、当社の責任において輸出許可申請等の必要な手続きを致します。
 当社の輸出に関して派生した問題等につきましては、当社の責任において処理します。

責任者と担当者が同じ場合は「同上」と記入して下さい。

1) 需要者 (使用者) および用途に関する確認

次の内容にご回答願います。(①～③は、はい/いいえ、いずれかを選択してください)

① アフガニスタン、イラン、イラク、リビア、北朝鮮、シリア、スーダン、キューバには輸出および経由しません。またこれらの国へ迂回輸出される懸念のある相手には輸出品を渡しません。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
② 次の企業、組織、関係機関、および個人には提供しません。 ・ 軍や軍関係機関および組織 (警察及び情報機関を含む)、テロ組織 ・ 核兵器、化学製剤、細菌製剤、化学製剤や細菌製剤の散布のための装置、ロケット/ミサイル、無人航空機の開発、製造、使用、貯蔵に關与している又は過去に關与していたと思われる相手。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
③ 需要者 (使用者) の用途が、次のいずれかに關わる懸念はありません。 [注1] ・ 下記のもの開発、製造、使用、貯蔵 核兵器、化学製剤、細菌製剤、化学製剤や細菌製剤の散布のための装置、ロケット/ミサイル、無人航空機、核燃料物質、核原料物質、原子炉またはその部分品若しくは付属装置、化学物質、微生物、毒素 ・ 核融合に関する研究、天文学に関するもの以外の宇宙に関する研究 ・ 重水の製造、核燃料物質の加工若しくは再処理 ・ 武器、兵器、軍用若しくは軍が使用するための装置や設備 (通信設備も含む) の開発、製造、使用	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

注1～9は最下部に記載してあります。

2) 需要者 (使用者) および用途の記入

需要者 (使用者) の正式名称 (英語) [注2]		
輸出国 (需要者が使用する国)		
経由国または地域 (あれば記入)		
製品の最終用途 (例: 通信端末装置の製造,等) [注3]		

輸出される製品の最終使用者の正式社名を記入して下さい。

経由地ではなく、製品が輸出され、使用される国名を記入して下さい。

製品の最終用途を [注3] の例のように具体的に記入してください。(「電界強度の測定」、「周波数の測定」等、機器の機能そのものを記入しないで下さい。) 社内管理用の場合は「社内管理用」とご記入ください。

上記1) の質問にひとつでも「いいえ」がある場合は、別ページ (2/2) の詳細内容をご記入願います。 [注5]

<輸出品目> (契約形態はいずれかを選択し、新規取引の場合は注文 No. を記入してください) [注4]

契約形態	<input type="checkbox"/> 納入済み	<input type="checkbox"/> 新規取引 (注文 No.)	
型名 / 品名	数量	製品の製造 No. (納入済みの場合)	
資料受領希望日	クリックして日付を入力		(通関予定月日: クリックして日付を入力)

当該輸出取引・国外持ち出しの対象となる製品機種名をご記入下さい。オプションや挿入されるユニット、ソフトウェア等がある場合は、それら型名をすべてご記入お願い致します。記入欄が足りない場合は、別紙等に記載していただいたものを添付していただく形でも結構です。

納入済みの場合輸出品の機械 No. を記入してください。

該非判定報告書の受領希望日を入れてください。

整理番号	
受注伝票番号	

上の欄はアンリツ専用のため、ご記入は不要です。

輸出通知／資料発行依頼書 (2/2)

※本依頼書は、輸出通知／資料発行依頼書(1/2) ページの「1) 需要者(使用者) および用途に関する確認」の質問に対する回答がすべて「はい」である場合は以下の記入は不要です。【注5】

(該当項目の□内はいずれかを選択し、その他の欄には必要事項を記入して下さい。)

輸出者名 (輸出通関業者ではなく、税関に輸出を申告する企業名を記入)	会社名		役職					
	部署名		氏名					
	住所		電話					
輸出経路 [注6]	会社名		国または地域					
<input type="checkbox"/> エンドユーザー (需要者)	英文社名							
	現地語社名							
<input type="checkbox"/> 使用場所 [注7]	URL [注8]							
	代表者名(英文)		電話					
	住所(英文)		製品の最終用途の使用分野と用途を例のように具体的に記入してください。(「電界強度の測定」、「周波数の測定」等、機器の機能そのものを記入しないでください。)					
製品の最終用途	[使用分野]		[用途]					
	例1: 通信端末装置	の	開発	<input type="checkbox"/> 民生用 <input type="checkbox"/> 軍事用				
	例2: 通信回線	の	保守	<input type="checkbox"/> 教育用 <input type="checkbox"/> スtock用				
	例3: 光ファイバー	の	製造	<input type="checkbox"/> その他()				
輸出の内容	<input type="checkbox"/> 転売	<input type="checkbox"/> 移転	<input type="checkbox"/> 貸出	<input type="checkbox"/> 一時持出し	<input type="checkbox"/> 譲渡	<input type="checkbox"/> 修理返却	<input type="checkbox"/> 修理用品	<input type="checkbox"/> その他()

注1. 需要者が未確定(ストック販売等)の場合は、輸出先の取引の相手方について、確約書等により用途に懸念がないかをご確認ください。

注2. 需要者の正式名称は、「～Co., Ltd」や「～Inc.」等まで正確に記入してください。

注3. 製品の最終用途を下記例のように具体的に記入してください。(「電界強度の測定」、「周波数の測定」等、機器の機能そのものを記入しないでください。)

- 例1: 通信端末装置の開発
- 例2: 通信回線の保守
- 例3: 光ファイバーの製造

輸出を伴わず、社内管理のため該非判定報告書が必要な場合は、製品の最終用途に社内管理用とご記入ください。(需要者と輸出国は記入不要)

注4. オプションや挿入されるユニット、ソフトウェア等がある場合は、それら型名をすべてご記入お願い致します。記入欄が足りない場合は、別紙等に記載していただいたものを添付していただく形で結構です。

注5. 輸出通知/資料発行依頼書(1/2)ページの1)の質問にすべて「はい」である場合でもアンリツから(2/2)ページへの記入を依頼する場合があります。その際にご協力をお願い致します。

注6. エンドユーザーに至るまでの取引に係わる中継者や、輸入者の全てを経路に従ってご記入下さい。ただし通関業者は除きます。

注7. ご依頼者ご自身、又は国内取引先がエンドユーザーで、国外へ一時的に持出して使用する場合には使用場所をチェックして場所情報をご記入下さい。

注8. URLをお持ちでない場合は会社案内、又は公表されている企業情報等の送付をお願い致します。(別途送付でも可)

注9. 該非判定報告書の他にパラメータシート(該非判定資料)を希望する場合は担当営業部門へお申し出下さい。